

574万8千円などを可決

一般会計予算総額 123億490万8千円となる。

九月定例会は九月三日から二十八日まで開催され、平成十九年度一般会計補正予算や、神崎市税条例の一部改正など十九議案、意見書一件を審議採決、意見書一件を継続審議としました。一般質問には二十一名の議員が登壇し活発な論議が交わされました。特に今回は農業問題に意見が集中しました。品目横断的経営安定対策による集落営農の問題点や、農産物価格の下落による農家の経営不安など、国政にも関わる問題が山積み、市民の声を反映する議会であり続けるために、皆さんの意見を是非お寄せください。

予算特別委員会の主な質疑

〈総務部関係〉

議員 旅費節減のため、東京神埼会、首都圏千代田会、東京脊振会を統一し、一日でできないか。

総務部長 佐賀県人会で、神埼、千代田、脊振の代表者で協議された中では統一が基本であるという考え方であり、今後調整を進めるこの回答をもらっている。

議員 消防車格納庫は整備が進んでいるが、それに伴う詰所の整備が遅れていて詰所が無い所もあるが一体的に整備できないのか。

総務課長 詰所については地区の消防設備の維持、団員の処遇上の問題という観点から地元で対応していただきたいと思う。

〈企画部関係〉

議員 合併一周年記念式典が行われたが、「元気かんざき市民交流祭」と併せて開催できなかつたのか。また、合併一周年記念式典が消防行事と重なったのは市役所内の横の連絡が出来ていないのではないのか。

企画部長 消防行事と重なったのは「交流祭」が年度当初に計画

できなかつたため。横の連絡が十分ではなかつたことは反省している。

議員 「交流祭」について、十一月開催ということが九月補正で突然出てきた事業に思える。事前に計画できなかったのか。

企画部長 年度当初より関係部課において市民の意見に沿うような祭ができないか協議をしてきた。日程については、年間行事を組む中で、市民が最も多く参加できる日を実行委員会を立ち上げ、その中で具体的日程を考えていく。

議員 スポレク競技部門で地区対抗とあるの

は、旧町村対抗が部落対抗なのか。
企画部長 市内百一十一地区の地区対抗である。

議員 合併一周年記念行事に拘らず単独事業として時期をずらしたほうが良いのではないか。

市長 いろんな問題もあろうかと思うが、一緒にがんばっていきたいということをご理解をいただきたいと思う。
議員 来年以降も吉野ヶ里公園で開催するのなら吉野ヶ里町と合同開催できないか。
市長 祭りごとであるので合同開催できると思ふ。来年に向けて考えていきたい。

一般会計補正予算3億8,

補正予算の主な事業内容について

事業名	予算額	事業内容及び事業対象
消防車格納庫建替事業	936.9万円	第4分団第4部（神崎町尾崎西分・東分）、第6分団第3部（千代田町姉）、第6分団第6部（千代田町嘉納、丙太田、丁太田）の格納庫建築費
一般会計決算上剰余金処分	1億9,652万円	減債基金積立金…1億2,326万円 繰越金…7,326万円
合併1周年記念「元気かんざき市民交流祭」開催費補助金	600万円	平成19年12月16日（日）、吉野ヶ里歴史公園西側（弥生の大野）にて神崎市民を対象に開催予定。婦人会踊りや地区対抗縄跳び競技など実施予定。
次世代育成支援対策施設整備補助金	1,411万円	学校法人洗心会「大立寺幼稚園」が認定こども園（幼稚園・保育園連携型）として県認定や運営の申請を行うに伴い、保育園の施設整備や調理室の建設工事が必要となるため、これを支援する目的で補助金の交付を行う。
担い手農地集積高度化促進事業	1億5,160万円	農用地利用改善団体などが、農地をまとまりのある形で担い手（認定農業者や一定要件を満たした集落営農）に利用集積（面的集積）した場合に、その面積に応じて面的集積促進費（補助金）を交付する。
単独事業（道路新設改良費）	1,790万円	①上大童・国道線…救急車、消防車など緊急車両が通行できる道路の整備を行う。 ②柏原南線…一部道路の拡幅を行う。 ③城原中線…道路改良を行う。 ④服巻・頭野線…継続事業。道路改良を行う。
児童・生徒用机天板取替修繕費	780.4万円	天板取替必要個数 小学校（市内4校）、中学校（市内2校）の合計…1,689個
千代田図書館費	273万円	現在、千代田町福祉センター内に設置されている図書館の機能、内容を充実させ、市民の読書に対する関心の高揚を図るため、千代田総合支所内（ロビーフロアの一角）に図書館を移転する。

《福祉部関係》
議員 大立寺幼稚園が「認定こども園」の認定を受けたいとの申請をされたが、県の条例はできているのか。
福祉部長 県で制度化し条例も設置されている。
議員 例えば幼稚園で

は給食は施設者が任意でできるが保育園は整備の必要がある。この場合保育料は施設者と父兄の任意の契約であり市は絡まないが、本会議の答弁で保育料は市の保育料の設定に合わせるということだったが間違いないか。

福祉課長 大立寺幼稚園としては市の設定に合わせるということである。
議員 保育園児の定数は何人なのか。
福祉部長 現在は二十人と考えている。
議員 神崎市として幼保連帯型の施設に対し

どう考えているのか。
市長 希望する施設があれば同じように整備すべきと考える。
議員 このような幼保連帯型の需要が増えると思うので、無認可の施設も希望する所があれば積極的に手を差し伸べるべきと思うが。
福祉部長 市内の子どもたちに同レベルでの保育サービスを行う意味で、同レベルでサービスできるような支援をしていきたい。

か、継続事業か、「能に親しむ会」共催事業は能だけなのか。
教育長 旧千代田町時代から子どもたちに能、狂言を体験させ地域文化に触れさせる事業を行ってきた。合併後も引続き神崎市の子どもたちに体験してもらおうために本年度より「日本の伝統文化、子ども能楽教室」として継続して行う事業である。また、併せて九月を能舞台の月として能・狂言に関わるものを上演していただきたいと思います。

《産業部関係》

議員 農業用施設整備補助金の補助残は誰が負担するのか。
産業部長 地元負担である。
議員 地域協働推進事業に水草撤去は対象になるのか。
建設課長 水草撤去は別事業で対応している。

《神崎市国民健康保険脊振診療所補正予算》

議員 地域の医師というのは大切な仕事であるので、県にお願いして長期間派遣していただく要望はできないのか。
市長 県には会議等の折り期間延長の要望を伝えている。

《教育委員会関係》

議員 「日本の伝統文化、子ども能楽教室」委託事業は単年度事業